

新年のこ と ば

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、ごあいさつ申し上げます。

議会は、市長とともに本市を支える二元代表制の一翼を担っており、執行機関に対する監視機能を果たすとともに、多様化する市民ニーズを的確にとらえ、市政に反映することを大きな使命としております。私ども議員一人一人は、そうした責務をしっかりと認識し、議会の権能と自律性をさらに高め、市民に開かれたより透明性の高い議会運営を確立していかなければなりません。

そのような中、本市議会におきましては、議会の意見を翌年度の予算編成に、より一層反映させるため、来年度から決算審査の時期を早めるとともに、議会改革に関する協議機関として、議会改革調査特別委員会を設置し、今後、議会基本条例などの調査を進めていくこととしております。また、去年は、この議場を使用して、小学生に議員の仕事を体験してもらう「福岡市議会 社会科特別授業」を拡充して実施いたしました。

今後とも、議会改革の取り組みを市民にわかりやすく進め、さらなる議会の活性化に取り組んでまいります。

さて、昨年を振り返りますと、全国的に記録的な大雨や台風が多く発生した年でありましたが、特に、8月に佐賀県など九州北部を襲った集中豪雨や、10月の台風第19号では、各地で甚大な被害が発生し、多くの方々が犠牲になりました。改めて、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、ご遺族と被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

本市におきましては、博多駅の活力と賑わいをさらに周辺につなげていく博多コネクティッドの始動を初め、天神ビックバンの進展や、福岡市美術館のリニューアルオープンなど、都市機能の向上に向けた動きが加速しております。

また、IoTを活用した子どもの見守り事業や、小・中学校における医療的ケア支援体制の整備など、誰もが安心して生み育て、すべての子どもが安全に健やかに成長できる環境づくりも着実に進んでおります。

さらに、G20 財務大臣・中央銀行総裁会議や、ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催などを通して、本市のプレゼンスを向上させ、国際都市としてのポテンシャルを国内外に広くアピールできたことは、非常に意義深いものであったと考えております。

本市は、今日まで活力あるアジアの拠点都市としてまちづくりを推進してまいりました。「令和」という新たな時代を迎えた今、さらに日本の成長を牽引するモデル都市として、本市に寄せられる期待はますます高まっております。

今後も、持続的に発展しながら、安全、安心で住みやすく、活力と魅力にあふれる福岡、そして何より、市民の皆様が誇りを持てるまち・福岡を築いていくため、私ども議会としましても、より一層の努力をしてまいりたいと決意をいたしております。

市民の皆様のみますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和2年元旦

福岡市議会議長 阿部 真之助
福岡市議会副議長 楠 正信